

2009/05/09環境史WG

信州秋山地域
—ケーススタディと課題—

中部班
寺島 宏貴

I 年表の視角

1. 自然自体の変動(遠因・・・人間活動?)

→天保年中にクスサンの大発生による栗・櫛の
枯死(1830-44)

→19世紀頃から凶作。畑作物・木の実の実らない
年が出てくる(天候不順が続く?)

2.人間の経済活動による、自然の改変

①人口激増(18世紀・・・世帯3倍増)

→近世中期以降、焼畑の拡大。→奥地化？

また、百姓による伐り尽し(木工素材の枯渇)

・山林争論の開始→越後側住民による伐り尽し

⇒資源枯渇。新たな材料・製品開発(近世～現代)

②近代以降:a.米の価値上昇

→水田開発→水田荒廃→作付面積の変化

b.焼畑の価値・必要性の低下

→植林地への転換→植林地の手入れ放棄

3.各ガバナンスレベルでのルール変化

①巢鷹山のルール

支配層＝幕府：鷹献上の停止と再開

地域住民層：停止期間中に越後側の住民による山林侵入。

停止再開後に、信州側との争論激化→巢鷹山の保護命令
⇒近代・・・巢鷹山廃止とともに伐採・開発された地域も。

②生活様式

地域住民層～家、個人のレベル：

→山地資源の利用の変化、生活様式の変容

※狩猟技術、狩猟範囲の拡大（文政年間～？）

高度経済成長以降、人間による山への介入が減少する。

→山菜・茸など採取資源利用の減少、野生動物の人里進出

Ⅱ 年表化するデータ

(1)年代ベース

=文献等で年表化が可能なデータ

- ・人口総計
 - ・世帯総計
- } 基盤データ

- ・支配
- ・巢鷹山管理史
- ・山林争論（巢鷹山争論）
=地域を超えたコンフリクト
- ・山地資源の利用と生業

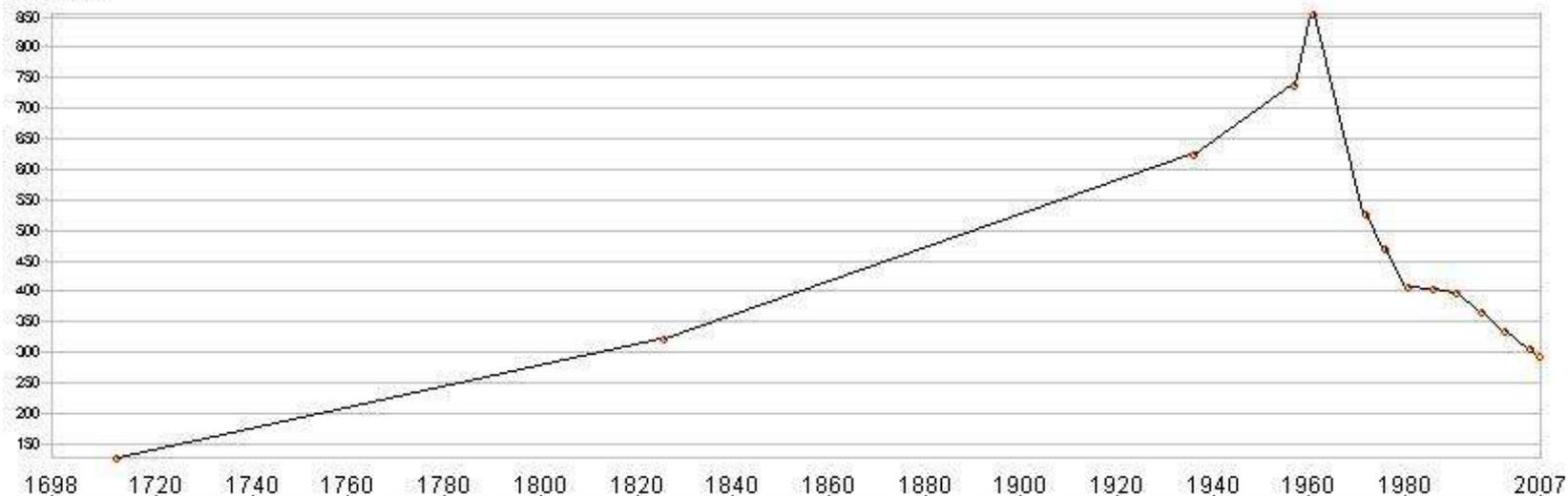
※ほぼ収集済み（追加調査中）。
古文書、聞き取り調査データ

※もう少し必要？

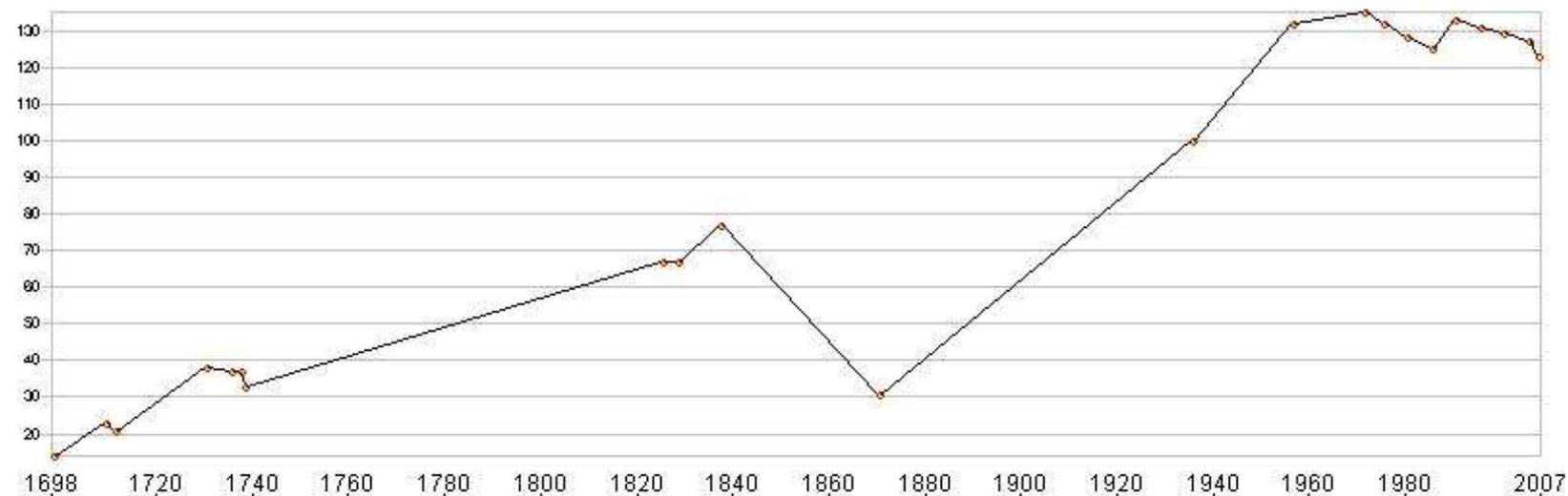
- ・生業と生活様式の変容（近世～近現代）→ 文献、聞き取り調査
- ・災害史：ベースとして→藤木久志編『日本災害史年表稿』（2009）
田口洋美『マタギを追う旅』（1999）の秋山年表など。

基盤データ:人口数・世帯数

人口総計



世帯総計



(2)非年代ベース

→ 未解決の課題

• 非年代ベースに基づく研究成果について

→各班ではどのように対処していますか？

正確な年代表現の困難なケースの処理

→変化がゆるやかなもの

ex1.basementとしての地形発達史

ex2.聞き取り調査に基づくデータ

→「19××年頃...」「近世～明治初期」の
様にスパンが広いもの。

【2】ケーススタディ

(1)秋山地域の生活史(戦前・戦後)

※[関戸2008]より。

和暦	年代	西暦	できごと
大正	11-13年	1922-24	中津川発電所の工事で好景気
昭和	14年	1939	屋敷に電気が入る
	16年	1941	小赤沢までトラックが初めて入る
	21年	1946	小赤沢に電気が入る
	27年	1952	上ノ原に電気が入る
	28年	1953	切明までトラック道路完成
	29年	1954	和山に電気が入る
	30年	1955	切明発電所の完成、工事にともなう現金収入
	34年	1959	秋山地区に有線電話が開通
	39年	1964	小赤沢までバスの運行が始まる
	45年	1970	秋山地区ブルドーザー除雪開始
	47年	1972	切明に温泉保養センター雄川閣開設

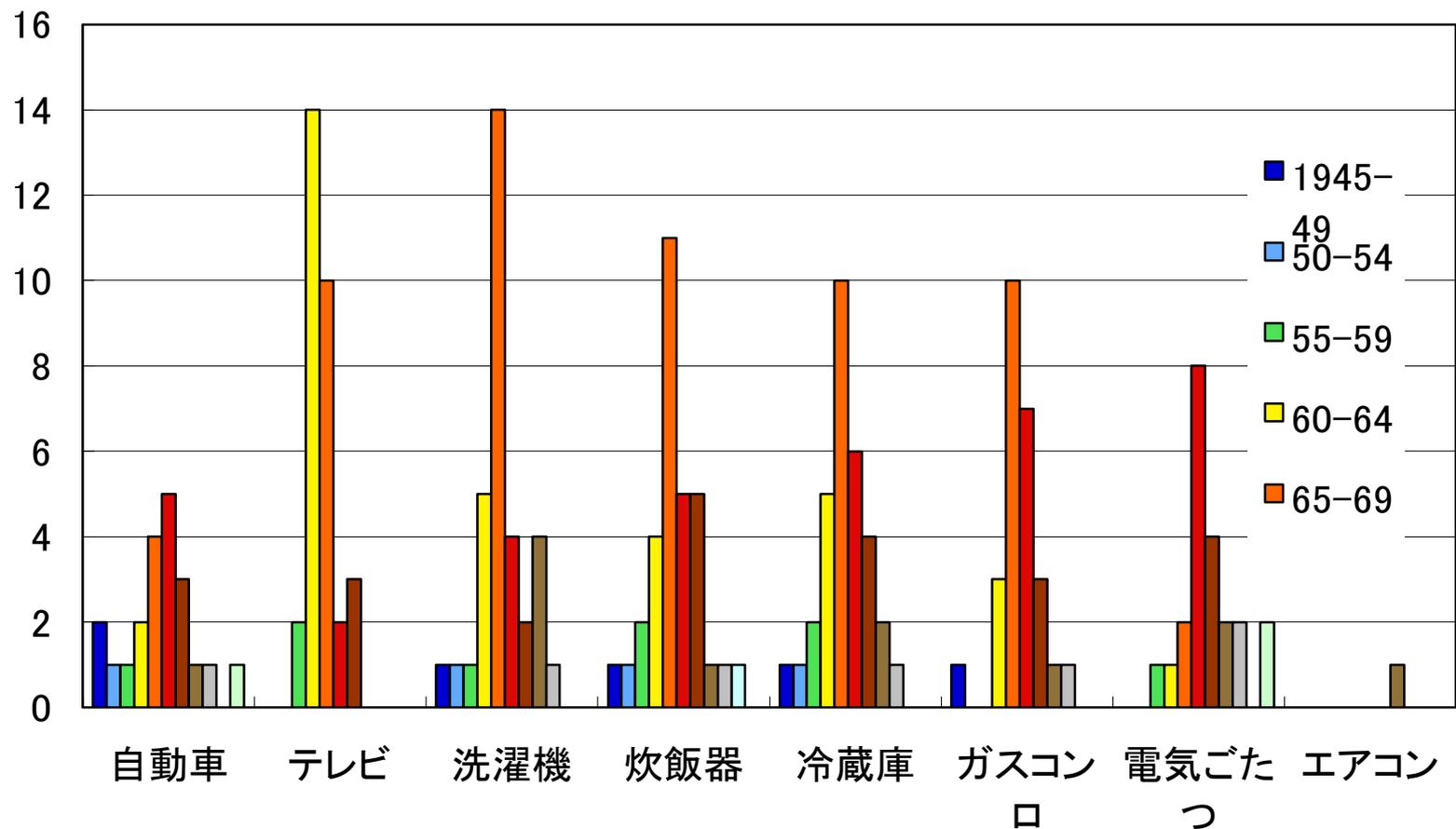
秋山地域の生活史（戦前・戦後）

和暦	年代	西暦	できごと
昭和	49年	1974	秋山郷観光協会設立
	50年	1975	小赤沢で焼畑が20年ぶりに復活
	53年	1978	奥志賀スーパー林道全線開通
	54年	1979	和山に温泉引湯
	60年	1985	小赤沢に温泉保養センター楽養館開設
平成	元年	1989	上ノ原にのよさの里開設
	3年	1991	県無形文化財に「秋山郷の焼畑耕作」選択

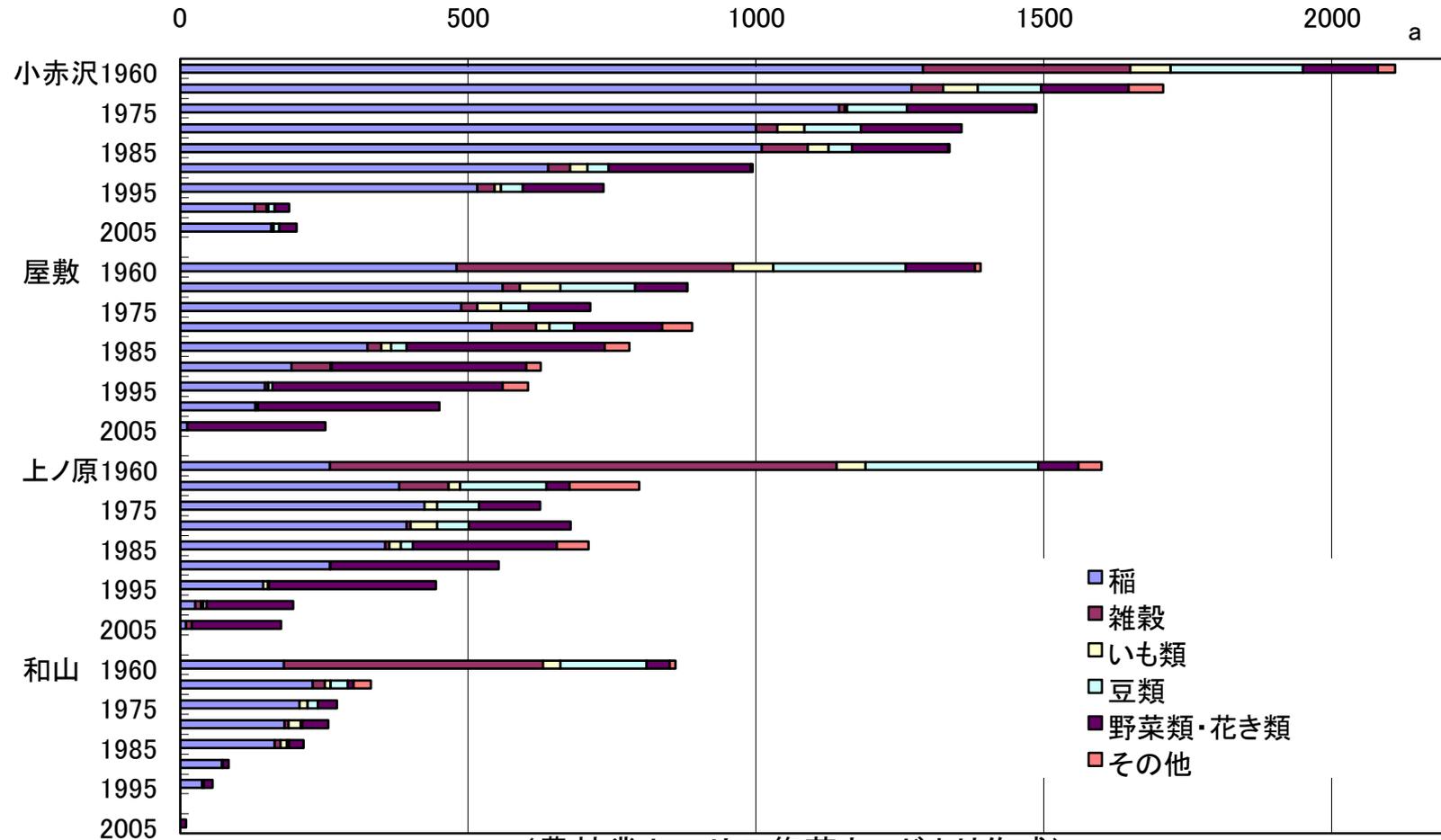
市川健夫(1991)『平家の谷―秘境秋山郷』、栄村役場資料より作成

(2)近現代の生活様式変化

※基礎データ:[関戸2008]



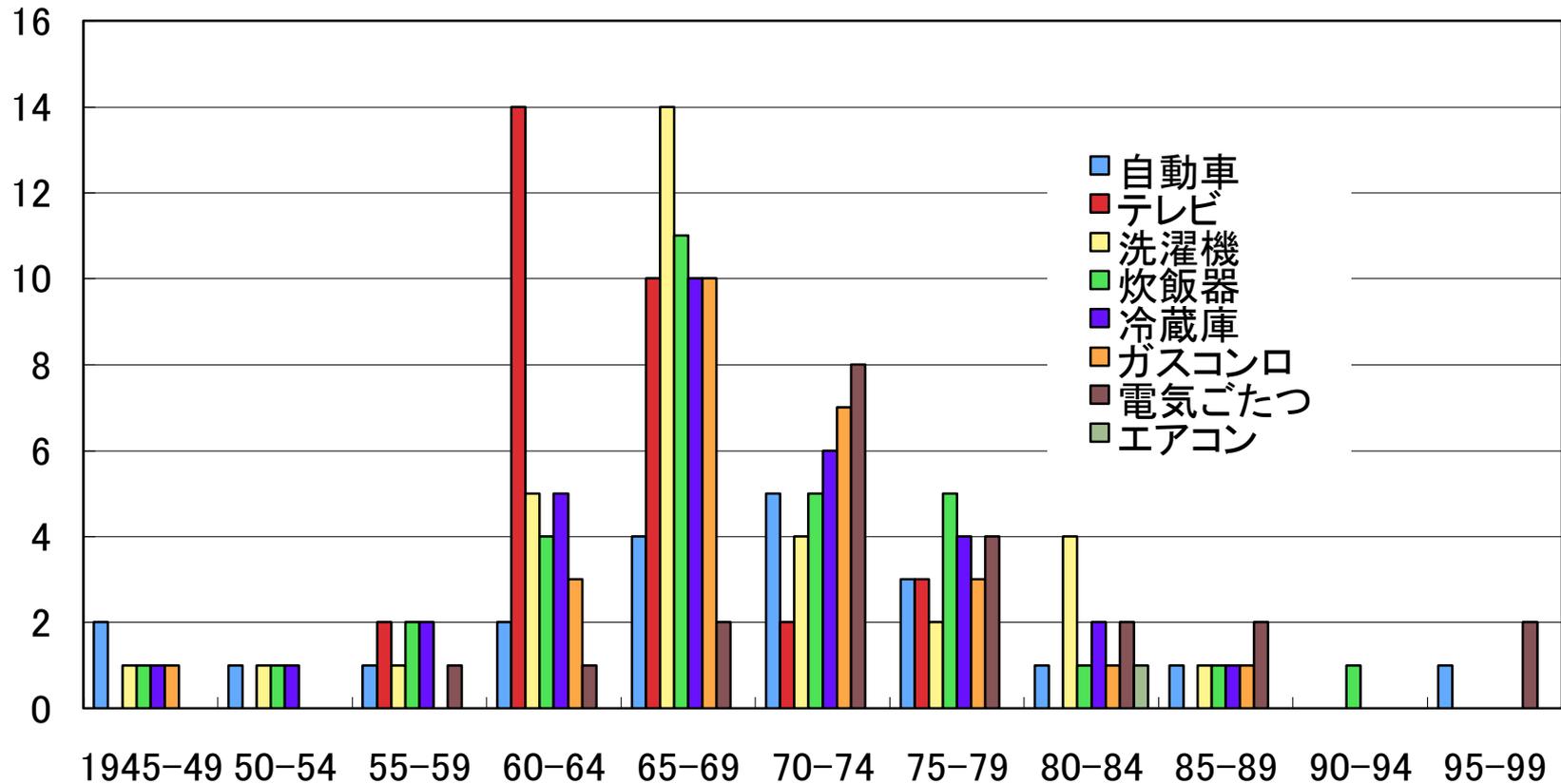
作付面積の推移(集落別)



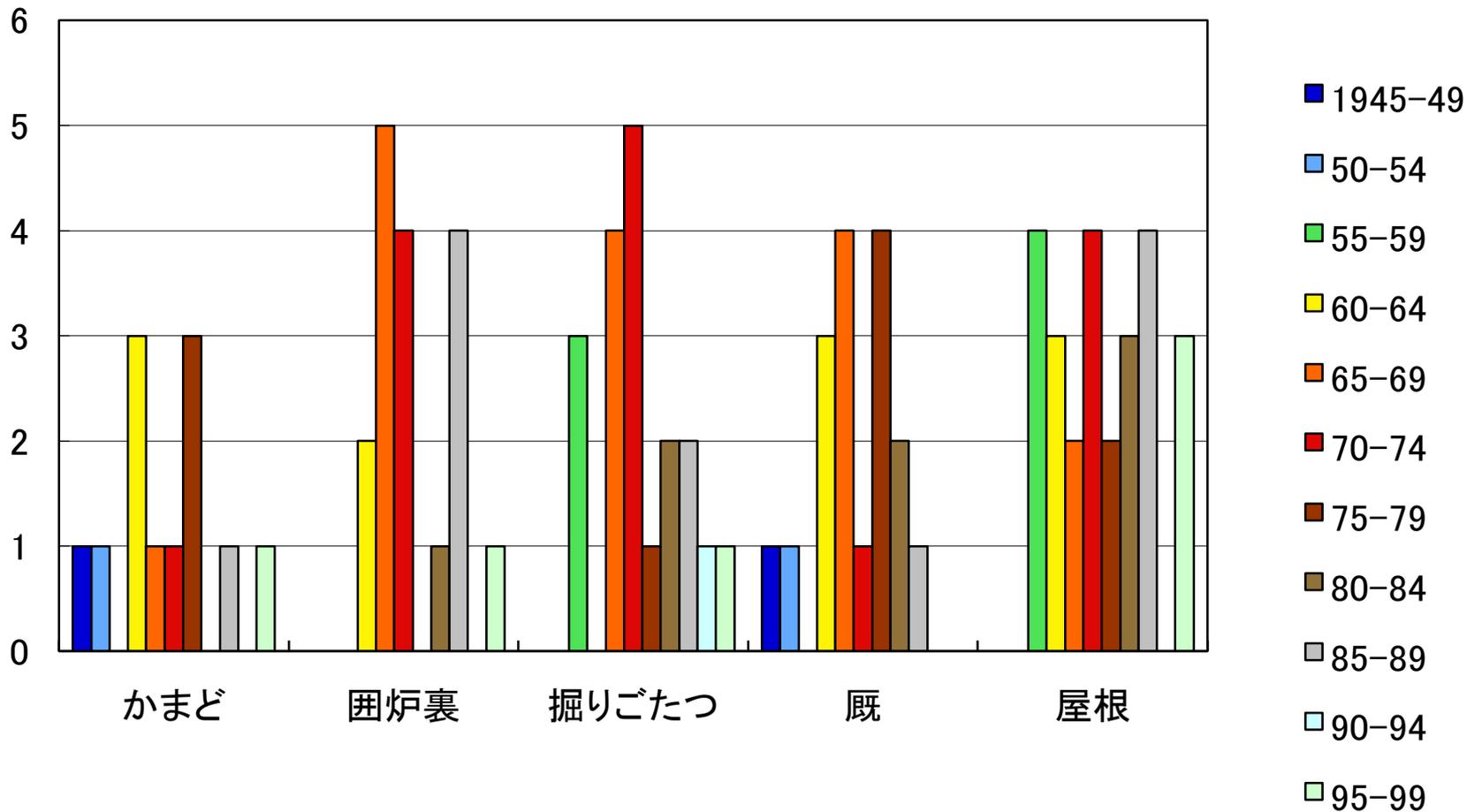
(農林業センサス集落カードより作成)

1990年以降は販売農家の作付面積

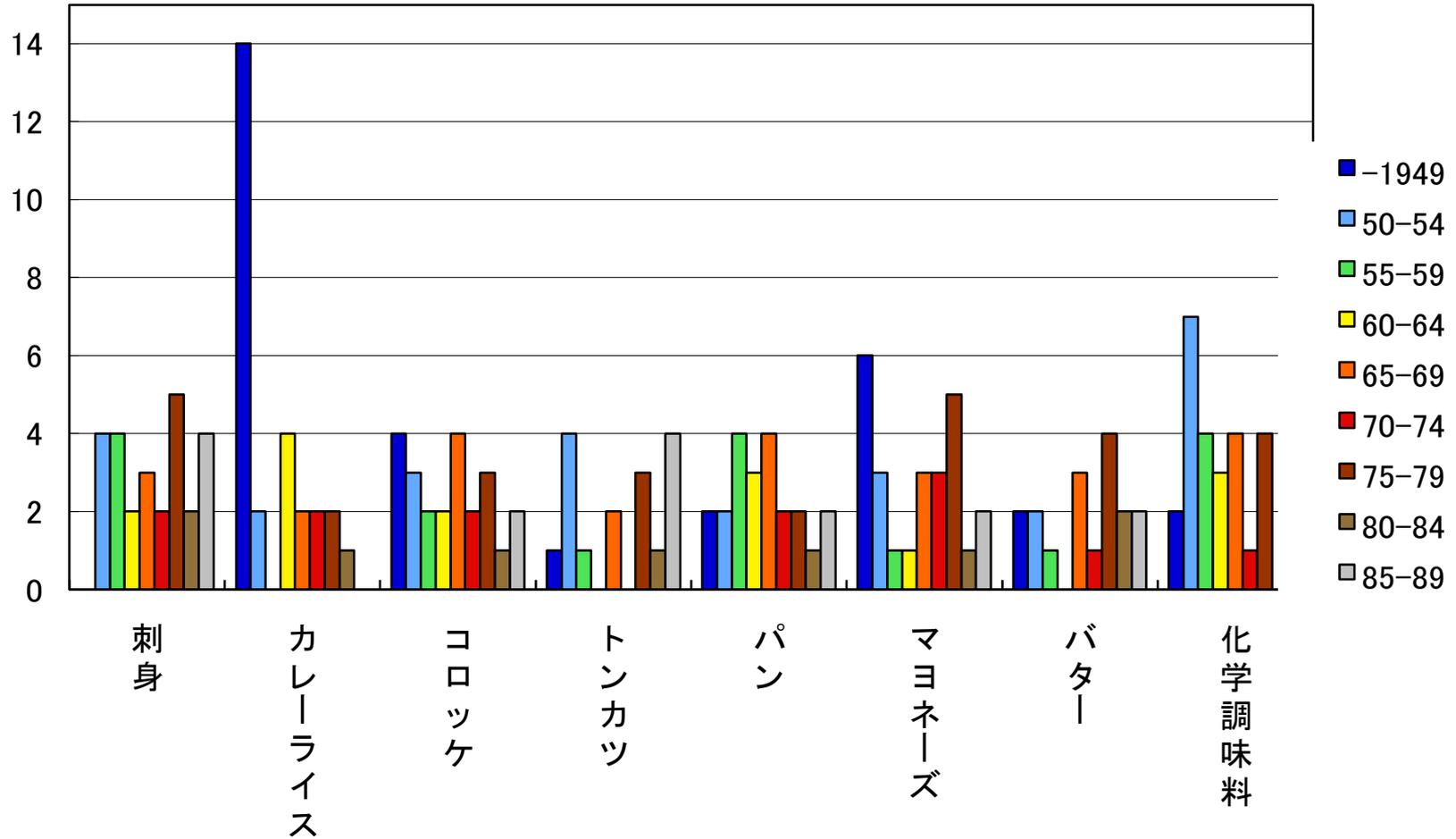
耐久消費財の導入時期



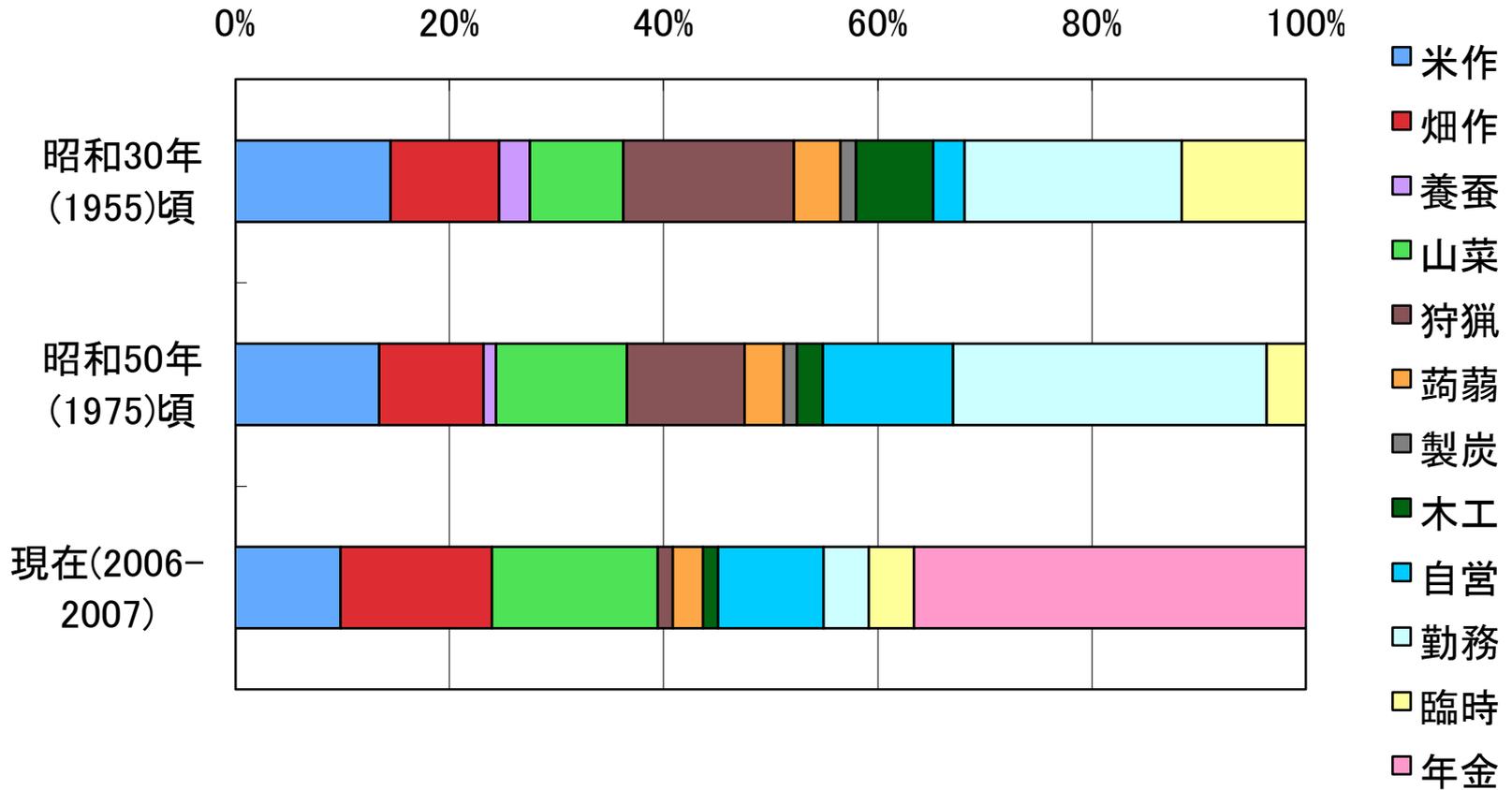
伝統的の家屋形態の廃止



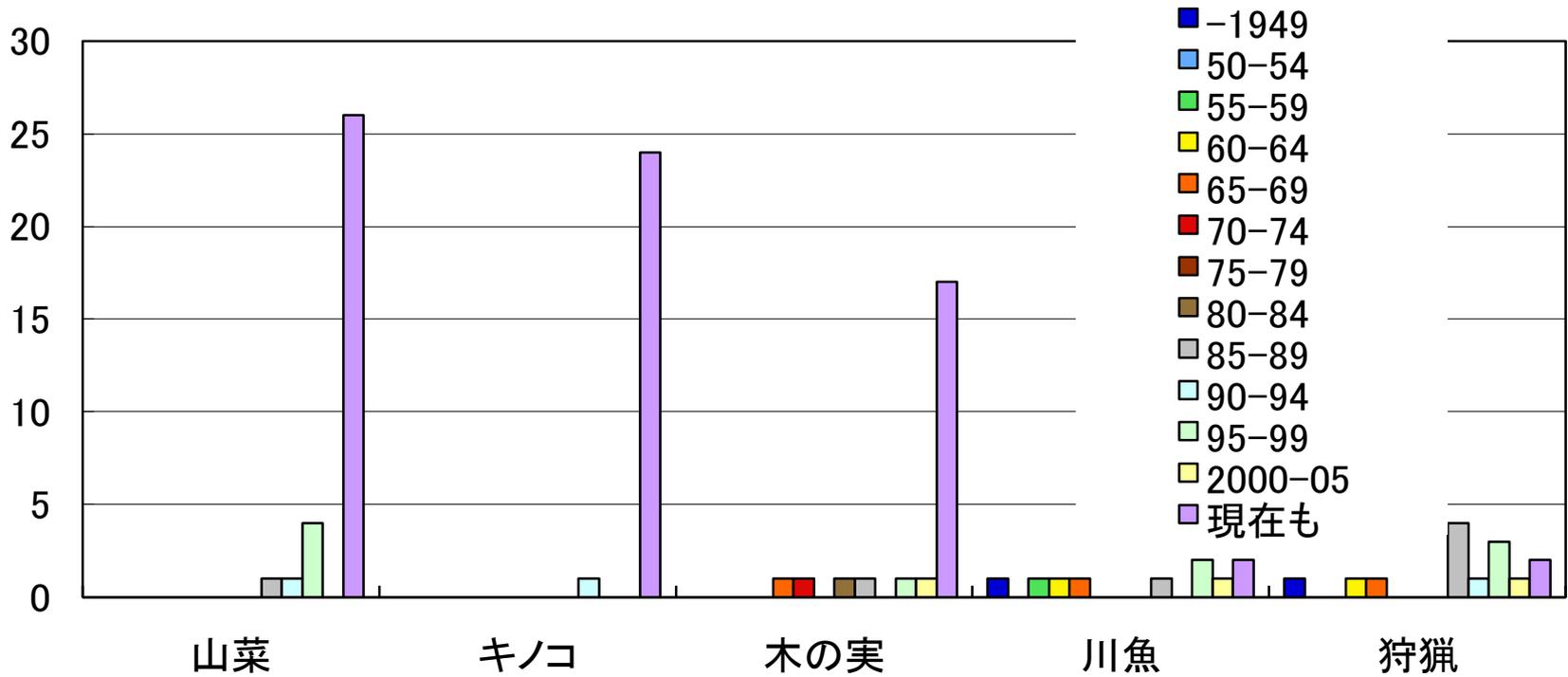
新しい食事・食品



生業の変化



生業の中止



(3)山地資源の利用

※基礎データ:[井上2008]



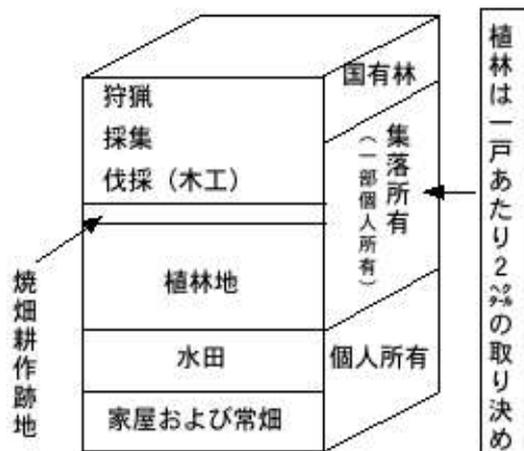
①江戸時代から明治初期



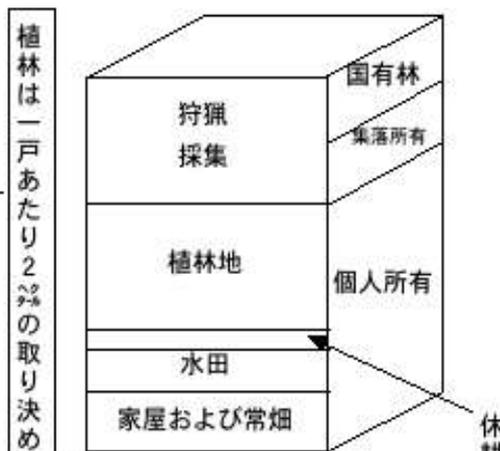
②明治初期から戦後



③昭和30~40年代



④昭和50年頃



⑤昭和末期から現在

